

平成27年度 事業報告

[主旨]

平成27年度は、前半は円安の中での輸出の好況、原油安などのアベノミクス効果があったが、8月の中国経済の急激な落ち込みにより世界経済が不安定化して、円高方向に進み、世界経済の牽引者がいない状況である。

一方、中国からの観光客が大量に日本製品を買い込んで帰国する「爆買い」現象が持続して、一部の活況はあるものの、全体的には景気は横ばいとみられる。

大阪デザインセンターは、平成27年度には、「中長期経営計画スキーム」の概念に沿って、デザインビジネスへの積極的な関与を意識して取り組んだ。

人材育成分野では、「良い商品づくり」だけでなく「売れる商品づくり」の視点から、「デザイナー・企画開発者のための販路・市場講座」を新たに実施した。また、従来好評だった co-design とマネジメント研究会の後継である「プロデューサー講座」及び、継続の「デザインシンキング修得講座」も含めて、デザイナー向けというよりも、企業の中の企画開発者が参加するケースが増えている。デザイナーが低価格の仕事に追われて、資金と時間を投資できにくい環境になっているように伺える。

優れたデザイン商品の販路開拓支援のために、国内外の事業にも取り組んだ。パリの Merci の前ブランド・プロデューサーのコロナ氏の商材クリニック、販路指導は、参加者の満足度は高いが、専門的な故にニーズは大きくない。トップアップ型のブランド戦略を明確化して取り組みたい。

国内の柏原市の6次産業化の動きは、まだ地元の機運がまとまらないが、地域創生の視点からデザインが取り組んでいきたい。

日本各地の食品をつないでブランド化する「ジャパン・シー・ライン」の動きが育っているので、デザインの観点から支援していく。

このほか、デザインとモノづくりを融合させる、「デザインエンジニアリング」にも取り組んでいる。

デザインと企業とをマッチングする業務を従来から継続しているが、「待ち」の姿勢でなく、出会いの場をODCが設定するために「SEMBAサロン」や「URIMA」ショーケースを設置したが、プロジェクトをODCが代表受注することも含めて、さらに具体的に取り組んでいきたい。

大阪デザインセンター全体の27年度の経常経費は 89,928 千円で、予算と比べて 3,872 千円のマイナス、前年度決算と比べて 11,031 千円の減少となっている。26年度にはATCからのデザイン振興プラザの受託 14,314 千円があったので、対前年度では 3,283 千円の増加となる。

支出のうち、人件費総額は 33,912 千円で全体の 38%ほど、直接実施しない事業を勘

案してもソフト事業の必要人件費としては多くはない。

収入については、保有資産の日本国債の利息収入が確実に見込めるようになった。最近の日本国債の高騰により、買い替え、売却時に差益が生まれ、収支改善になっている。

正味財産の期末残高が1,131,617千円と前年度よりも175,903千円増加しているが、これは有価証券の時価評価が昨年度よりもさらに高額になっているからであって、実体的に増加しているわけではない。決算時の保有有価証券の額面合計額が795,500千円に対して、時価評価は1,099,802千円に上っている。

有価証券の買い替え、売却時に名目的な利益が計上されて、公益目的支出計画の目標が全く達成されていない外観になったが、実態としては、着実に履行しつつある。

[実施結果]

I (価値) 開発軸

1. 人材育成

① デザインプロデューサー育成講座

プロジェクト全体を俯瞰できるデザイナーや、デザイナーの思考法を理解してディレクションできる経営者などのようなデザインプロデューサーを育成するため、様々なジャンルに於いて第一線で活躍するデザイナーや経営者などの方を講師に招き、事例を交えながら、デザインの思考で問題を解決する方法論を教授してもらった。

時期 平成28年7月14日(火)～8月25日(火) 18:30～20:30 全7回。

場所 大阪デザインセンター SEMBA 会議室

受講料 6万円 (ODC賛助会員は4万円)

参加者 24名

講師 太刀川 英輔氏 NOSIGNER 他8名

② デザイン・シンキング修得講座

新しい発想、イノベーションをどのように起こすのか。人間中心で考えるデザイン思考は極めて有効なアプローチ法です。

デザインを通じて社会に新たな価値を創造することを目的に、今回の講座では、東大Ischool、慶応義塾大学SDMのアカデミックな知見を広めるとともに、現役デザイナーが実践しているデザイン思考のメソッド、どのようなソリューションの手順を経て、課題の抽出から解決策を導いているかを体系的に学んだ。

時期 平成27年8月21日(金)～9月24日(木) 13:30～17:10 全6回 (週に1回)

受講料 6万円 (ODC賛助会員は4万円)

参加者 16名

講師 前野隆司氏 慶應大学システムデザイン・マネジメント研究科教授 他7名

※ なお、デザインシンキング・ワークショップを募集したが、応募者少数につき、開

催しなかった。

③ デザイナー・開発者のための販路・市場講座

消費者が購入に至る 新経験＝価値デザイン

消費者ニーズ、販売者の意図を正確に捉えて、より効果的なデザインに結び付けるため、典型的な購買層をどこに定めるのか（ペルソナ）、ブランド戦略、グラフィック等による店舗のイメージ発信、具体的な商品構成、陳列方法等の事例を通して、店舗規模、販売手法ごとにアピールの仕方を学んだ。

時期 平成 28 年 1 月 6 日(水)～2 月 17 日(水)18:30～20:30 全 7 回

場所 大阪デザインセンター SEMBA 会議室

受講料 6 万円（ODC 賛助会員は 4 万円）

参加者 9 名

講師 柿尾 正之氏 （公社）日本通信販売協会（JADMA） 他 7 名

④ デザイン・インターンシップ

デザイナーを目指す学生にデザイン事務所で実際に学ばせ、デザインスキルや企画提案能力、コミュニケーション能力や社会人としての礼儀、マナーなどの必要性を学ばせた。

時期 夏休み期間中の 14 日間、20 人の学生が 20 か所のデザイン事務所で、実地研修を行った。

⑤ 産学連携「デザイン実践プロジェクト2015」

デザイン専門学校生・大学生とものづくり中小企業の出会いの機会を提供して、学生には生産現場でのデザイン開発体験を、企業には若い人の斬新なアイデアの導入を促す目的で実施した。

企業 8 社と、学生 42 名が参加して、グループに分かれて、企画、提案、制作を経てデザイン提案を行ってもらった。

時期 平成 27 年 5 月～12 月

場所 大阪工業大学 グランフロント 教室

企業参加料 38,000 円×8 社

学生参加料 無料

コーディネーター 大阪工業大学 細野幸敏教授 他

⑥ ユーザーとともに考えるデザイン展

子どもたちが遊びやふれあいから生きる力を学び、楽しみながらデザインの感性を育てる機会を提供した。

低年齢層からデザインに触れ、様々な楽しみ方を考えたり、発見したり、発表することにより、こどもの創造するチカラやイマジネーション、可能性や個性を伸ばす。

テーマ 「感じるデザイン絵本展」【夏休み子どもイベント】

時期 8 月 14 日(金)～16 日(日) 11:00～17:00

場所 南港 ATC ビル 10 階 サンセットホール

参加費 無料（一部、有料のワークショップ有）

参加者 1,804名

⑦ デザイン・シンポジウム

現在でも、デザインは、姿、形の外観をよくするものという考え方が多いが、企業経営や社会課題を解決するためにも、デザイン思考法を活用することが有効である。市民やビジネスマンに、デザインの力、価値を理解してもらうための啓発シンポジウムを開催する。

今回は、重要なデザインテーマでもある「食」を取り上げ、食品の商品開発だけでなく、食に関わるライフスタイル全体をデザインして、ブランド化して、消費者に提案する手法、フランスの食文化との違いを講演により紹介した。

あわせて、ブランド戦略、地方創生、海外展開なども論点とした。

時期 平成 28 年 1 月 28 日（水）13:30～16:30

場所 大阪市立中央図書館

テーマ 「食のライフスタイル・デザイン」

参加料 無料

参加者 151名

講師 (株)シーズコア 渡部紘士氏他

⑧ デザインマネジメントフォーラム

前年度のデザインマネジメント研究会の修了生に、受講後の1年間の成果発表をしていただいた。

時期 11月26日（木）14:00～17:00

場所 ATC 10F

参加料 1,000円

参加者 39名

パネリスト 川添 光代／古川 多夢 他

コーディネーター 坂下清 ODCアドバイザー

II （価値）共有軸

1 デザイン情報の共有、交流

(1) 情報発信、ホームページの充実

① ホームページの充実

当センター事業の開催告知など新しい情報をその都度発信するとともに、大阪を主とする多様なデザインに関する取組みをサイト内の「KANSAI DESIGN INFO.」や公式 facebook で情報提供した。また、操作性の改善のため、事業内容が明確になるようにコンテンツの再編やメニューの名称変更などを行い、ユーザーが求める情報への到

達率向上を図るとともに、講座やサロン、イベント開催の様子をレポートにまとめて掲載し、SNS と連動させることで HP への誘導を促しアクセス数をアップさせた。

② デザイン事務所データベースの整備と運用管理

在阪を中心とするデザイン事務所データについて、業務内容・得意分野など関連情報を収集の上、ホームページにおいてアップすると共に、デザイン相談やデザイナー紹介などにおける利用者のニーズに応える案件にも活用した。また、登録デザイン事務所に対して、当センターの関わるデザインイベント・セミナー等の情報をメルマガ等で提供した。

○登録デザイン事務所数

- ・ビジュアルデザイン分野 315 社 (前年度は 293)
- ・プロダクトデザイン分野 108 社 (前年度は 108)
- ・スペースデザイン分野 58 社 (前年度は 57)

(2) サロン交流

① 「SEMBA」の開設

分野を超えてデザインに関わる人達の交流を広げる場として、船場センタービル4号館2階の所有スペースを「SEMBA」としてリニューアルオープン。クリエイティブで落ち着いた便利な空間として、デザイン団体や一般への貸会議室といった用途に加えて、毎週金曜日の夕刻には「SEMBA サロン」として、プレゼンターを招き、自由参加の交流会を企画実施した。

SEMBA サロン

期 日	内 容	参加者数
4月3日	小ロット・細分化する化粧品容器のニーズとねらい	14名
4月10日	ポスト産業資本主義社会のデザインについて (主催：大阪デザイン団体連合)	8名
4月17日	レスポンスWEBデザイン	18名
4月24日	「入母屋造りの農家」組立ペーパーボックスはなぜ生まれたのか	28名
5月15日	カッティングマットで自社ブランドの確立、知名度アップをめざす	12名
5月22日	イタリアの最新タイルトレンドからCERSAIE2014トレンドまで (主催：大阪デザイン団体連合)	14名
5月29日	WEBデザイン事務所が教えるECサイトでモノを売るコツ	24名
6月5日	あかりのデザインの変遷とこれから (主催：大阪デザイン団体連合)	17名
6月12日	京町屋の魅力とはり絵	18名
10月2日	謎の素材(炭素繊維)を使ったシート状椅子構造体の開発秘話	13名
期 日	内 容	参加者数
10月9日	欧州最大級のインテリア・デザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ」視察報告	21名

10月16日	デザインの仕事から中国趣味へ深入り	11名
10月23日	優しさのものづくりって何?	10名
10月30日	「プロボノって?」仕事で培った経験・スキルを生かした社会貢献活動について	10名
11月6日	デザイナー目線で海外のTECHカンファレンスに飛び込んだ体験談	19名
11月13日	2015.9月のロンドンデザインフェスティバルと魅惑的なウィーン、プラハに見るユークレントシュテイル(世紀末様式) (主催:大阪デザイン団体連合)	15名
11月20日	My Portrait~私自身の写真	7名
11月27日	薄板金属加工を極める	11名
12月4日	知的財産権の取得と活用 意匠と著作権のちがひ	13名
12月11日	壁紙が主役の空間づくり	8名
12月18日	旅の水彩画”見る・食べる・遊ぶ”るるぶの会 (主催:大阪デザイン団体連合)	9名
1月8日	新年会&デザイナー一年賀状展(申)	23名
1月15日	こどもOSによるイノベーション	11名
1月22日	建築・インテリア分野で企画した見学会の報告(竹中大工道具館、大阪木材仲買会館、京都国立博物館)(主催:大阪デザイン団体連合)	1名
1月29日	SEOでまだ消耗しているの?本当のホームページ集客とは	14名
2月5日	時代の流れとサインデザインの歴史について(第49回SDA賞受賞作品紹介)(主催:大阪デザイン団体連合)	18名
2月12日	日本のBENTOがすごいわけ!	8名
2月19日	”ダンボールかまくら”を一緒につくる、一緒にはいる交流会	5名
2月26日	近作について~和のイノベーション~	15名
3月4日	「あなたは全ての色を識別出来ますか?」その能力は訓練により向上できます~	20名
3月11日	未来思考でアイデアを生み出そう	21名
3月18日	描くチカラは、伝えるチカラ(主催:大阪デザイン団体連合)	19名
3月25日	目的に応じたWebサイトの種類?	6名

計 33 回実施 延べ参加者数 461 名

備考: SEMBA貸会場利用状況 15 企業・団体 71 件

② ナレッジサロン

うめきたのナレッジサロンは、関西の産・官・学のイノベーション拠点として、多彩な人々の結集拠点となっているので、引き続き、デザイン関係者がサロン入会を希望する場合の便宜を図り、連携・活用をしていく。

(3) 販売ショーケース in ODC「URIMA」

当センター内に販売ショーケースを設置し、中小企業やデザイナーのつくったオリジナル雑貨商品のテストマーケティングの場を提供した。また、ATC 内で開催の「感じるデザイン絵本展」「デザインマルシェ」にも特別出展した。

第1期（平成27年5月15日～11月13日）出品者数16社 販売点数74点

第2期（平成28年1月15日～6ヶ月間 展示中）出品者数13社 販売点45数

(4)その他

新しい施設におけるデザイン情報の紹介や参加者交流を目的に下記で見学会を実施した。

2月16日	ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター	24名
-------	-----------------------------	-----

2. 大阪・関西のデザインに対する発信力強化

(1) 「OSAKA STYLING EXPO」

(大阪商工会議所との連携事業)

大阪商工会議所および大阪スタイリングエキスポ実行委員会（事務局：大阪商工会議所）が実施する「OSAKA STYLING EXPO」に主催者の構成団体として参画した。平成22年度から参画している。

同事業は、大阪らしいライフスタイルの発信を通じ、大阪の賑わい向上とファッション・ライフスタイル関連産業の振興に貢献することを目的とし、関西で活躍するクリエイター等が創り出す商品の中から、消費者に支持される商品をコーディネートし、「OSAKA STYLING」として発信することにより、消費の刺激、消費者起点の商品開発、新進クリエイターの発掘・育成等に資するものである。プログラムは FASHION 部門と LIVING 部門で構成され、いずれも11月に開催された。

FASHION 部門は、メーカーの合同ファッションショー、新進ブランドの合同ファッションショーを中心に構成した。LIVING 部門では、大阪人の価値観に調和した優れたデザインや新しいライフスタイルの提案で毎日の生活を彩るプロダクトを募集、選定した商品の展示・販売会や各種催しを大阪市内の商業施設（高島屋大阪店）で開催した。

[ファッション部門]

日時 11月2日（月）14～20：00、3日（火祝）11～19：00

場所 グランフロント大阪 1F ナレッジプラザ

参加者 延べ3,912名

内容 22ブランドの春夏ファッションショー、25作品の学生コンテスト、6団体のブース出展。

[リビング部門]

日時 11月5日（木）～9日（月）10～20時

場所 高島屋大阪店7F

テーマ “Best Buy OSAKA！”

出展社 応募56社、16社出展。

売上 479 万円

(2) 展示会等による情報発信 (大阪市との連携事業)

① 「LIVING & DESIGN 2015」への出展

「住まいと暮らしのリノベーション」をテーマに 2010 年から開催されている西日本最大規模の住空間の国際見本市に出展して、企業や流通関係者、一般市民に、デザインを活かしたものづくりの意識啓発を進め、大阪のデザイン力を広く PR した。

実施時期 平成 27 年 10 月 14 日 (水)～16 日 (金) (3 日間)

場 所 大阪南港 ATC ホール

参加者 7,332 名

出展 167 社

② ODP デザインセミナー 「デザテン」

6/11 6/25 7/30 8/7 1/27 1/30 2/4 3/14 3/17 3/18 3/24 18:30～20:00

(於) ATC 10F デザイン振興プラザギャラリー 199 名

③ デジタルファブリケーションセミナー

8 月 20 日 (木) 17～18:30 (於) ATC 10F デザイン振興プラザギャラリー
30 名

3 デザインビジネスマッチング、ビジネス支援

(1) マッチング事業：デザインビジネスプロモーションセンターの運営

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別コンサルティング行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。ホームページでの情報発信に加えて、「大阪勧業展」、「LIVING&DESIGN」、大阪産業創造館「魅せるパッケージデザイン展」への出展や、ODP でのマッチング事例展示展など積極的な広報を行い、デザイナー紹介に関する相談案件が前年比約 30 件アップした。また、企業依頼内容に対するデザイナーとの的確なコーディネート業務に注力し、成約率 60.9%とマッチングの精度を意識した取組みを実施した。(25 年度成約率 63.2%、26 年度成約率 56.8%)

① デザイン一般相談・利用

一般相談・利用件数 4,054 件 (前年度は 4,068)

(内訳)

デザイン一般 に関する事 こと	デザイナー紹介 に関する事 こと	プロデューサー派遣 に関する事 こと	データベース に関する事 こと	その他	合 計
2,122 (1,974)	1,378 (1,347)	152 (266)	317 (315)	85 (166)	4,054 (4,068)

② デザイナー・デザイン事務所の紹介

依頼件数 151 社（前年度は 142） 紹介件数 139 社（前年度は 136）

（内訳）

プロダクトデザイン分野		スペースデザイン分野		コミュニケーションデザイン分野		合計
成約（開発中含む）	38	成約（開発中含む）	4	成約（開発中含む）	50	92
交渉中	1	交渉中	0	交渉中	8	9
不成約	17	不成約	3	不成約	30	50
合計 （前年度）	56 (51)	合計	7 (7)	合計	88 (103)	151 (161)

※成約件数には、1 案件（1 企業）と複数デザイン事務所とのマッチングもカウント

③ DPC 専任コーディネーターならびに専門プロデューサーによる個別面談カウンセリング

DPC 専任コーディネーター(ODC 職員)対応 116 件/専門プロデューサー対応 23 件

合計カウンセリング件数(116/23)=139 件（前年度は 118）

（内訳）

プロダクトデザイン分野	スペースデザイン分野	コミュニケーションデザイン分野
41/11 (28/11)	7/2 (6/0)	68/10 (49/24)

④ 外部展示会等への出展

・「LIVING&DESIGN」ATC ホール 平成 27 年 10 月 14 日・15 日・16 日（3 日間）開催
会場来場者数名 7,322 名 ブース来場者数 200 名

・「大阪勧業展」マイドームおおさか 平成 27 年 10 月 21 日・22 日（2 日間）開催
来場者数 8,115 名 ブース来場者数 130 名

・「魅せるパッケージデザイン商談会 2016」大阪産業創造館 平成 28 年 3 月 17 日
会場来場者数 1029 名 ブース来場者数 70 名

⑤ 広報活動その他

・デザインイベント・セミナーでのチラシに加えて、マッチング成果事例集を制作して配布、Web サイトでのマッチング事例（case study 掲載事例 累計 136 件）や相談企業の声を多数掲載して情報発信。

・当センターならびに大阪デザイン振興プラザにおけるマッチング事例の展示
平成 27 年 4 月 1 日～3 月 31 日 展示点数 20 点

（5）主な視察状況

5 月 1 日	久留米商工会議所	1 名
6 月 12 日	東京都中小企業振興公社	4 名
1 月 19 日	中小機構整備基盤機構	1 名

4 ビジネス支援

地域伝統製品の高度化、六次産業化、地域創生などの地域課題の解決のために、デザイン手法が活用されるように働きかけた。

① 柏原シンポジウム「6次産業化×デザインを活かした町おこし」
テーマ「柏原の可能性」

日時 9月26日(水) 14:30～17:00

場所 柏原市民文化会館 リビエールホール

参加者 50名

参加料 無料

講演者 柏原市長 中野隆司氏ほか6名

Ⅲ 国際軸

1 国際的なデザイン交流

国際デザイン交流協会の理念を受け継ぎ、世界と日本とのデザイン交流を進める。

(1) 国際的なデザインに関する意識啓発事業(大阪市との連携事業)

① マレーシア・クリエイティブビジネス研究会 1、2

6/30(火) 9/29(火) 15～17:30 (於) JETRO 大阪本部、ATC 31名

② タイ国デジタルコンテンツビジネスセミナー・商談会

9月14日(月) 10～16時 (於) ホテル日航大阪 58名

③ アジアンクリエイティブクロスミーティング

6月27日(土) 13～16:30 (於) ATC10F 29名

④ ODP 中小機構連携セミナー

「中小企業の海外進出！eコマースの注意点とアジア各国の違い」

10月28日(水) 16:00～18:00 13名

④ アジアンクリエイティブクロスミーティング Vol.2

12月5日(土) 13:00～16:40 (於) ATC10F 37名

⑤ アジアンクリエイティブクロスフォーラム

3月5日(土) 13時～17時30分 (於) ATC10F 102名

2 海外販路開拓支援

コロナプロジェクト

フランスマーケットの実情に詳しく、どのようなブランド戦略、モノづくり、どのような販路に乗せればよいのかを、アドバイスしてもらえる、質の高いマーケット・アドバイザー ジャン・リュック・コロナ 氏から指導してもらった。

<日程、内容>

- 9.8 (火) 各社パリに現地集合して、各自、メゾン・エ・オブジェを視察
- 9.9 (水) 最初の1時間で、コロナ氏のフランス市場の講義とクリニック。
1社30分～50分で、各社の商材を持参して、フランス市場での販売可能性、販売店想定クリニックを受けた。JETROパリ事務所にて。
- 2016.9.10(木) パリ市内8か所のセレクトショップをチャーター・バスで巡回して、現場での販売形態、各社にふさわしい店舗等の実地指導を受けた。
- <参加者> 8社 11人
- <参加費用> 1人 30万円 ODCの賛助会員は、1人 20万円
(これ以外に、パリへの渡航費、滞在費の自己負担が必要)

IV ODC関係

(1) 賛助会員の加入促進

健全な財政運営を図っていくためには、自主財源である賛助会費収入の安定的な確保が不可欠である。ODCが行う諸事業の参加料を、賛助会員に割引を実施して、新規入会の呼び水とした。

また、賛助会員には、各種デザイン情報のメール配信のほか、賛助会員証の発行、HPへの明示、業務発注便宜など具体的な会員サービスの強化策を実施し、HPにもメリットを掲示した。

賛助会員数 企業49社、デザイン事務所84社 計133社(昨年度120社)

(2) (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会

(財)国際デザイン交流協会から引き継がれた財産の管理や財産をもって行う事業については、(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会(構成:大阪府、大阪市、大阪商工会議所、近畿経済産業局の役職員の中からそれぞれ1名を当て職として、理事会の同意を得て理事長が委嘱する。)で審議を行うこととしており、大阪・関西のデザイン振興に有効で効果的な事業が実施できるよう、引き続き運営委員会で協議する。

(3) 商工経済団体との連携強化

大阪産業創造館や大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、大阪府商工会連合会、大阪市工業会連合会などの商工経済団体との連携を強化し、諸事業の積極的な展開を図った。

(4) 施設賃貸事業

船場センタービル4号館に保有する142.12㎡の資産を有効に活用するため、3階部分は外部への賃貸を継続し、2階は貸し会議室SEMBAとして活用している。

(5) デザイン団体支援

大阪デザイン団体連合 USD-O、(公社)日本インダストリアルデザイナー協会 JIDA 関西ブロック、(公社)日本インテリアデザイナー協会 JID 西日本エリア、(一社)日本商環境デザイン協会 JCD 関西支部、あぷーん AP~N (Ageless Planning Network)からの委託を受け、各団体の事務局業務を推進し、各団体の支援に努めた。